# 石川県漁海況情報

528号 2023年8月31日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

ホームページ https://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html

携 帯 電 話 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu\_files/p-index.html



## 本号の概要

#### 調査船白山丸のスルメイカ調査結果 (期間:8月18日~24日)

● 日本海中央部のスルメイカの分布量は前年および過去5年平均を上回りました。

#### 調査船白山丸のアマエビ調査結果(期間:7月26日~28日)

- 1歳エビと2歳エビの採捕尾数が多い結果となりました。
- 2023年1~7月の期間におけるアマエビの水揚量は前年同時期を上回りました。

### 石川県主要港の水揚状況(期間:8月1日~15日)

- **定置網** サバ、マアジは前年並みで、フクラギ・コゾクラ、サワラ・サゴシは前年を下回りました。
- まき網 サバは前年並みでした。
- 刺網・釣り・その他 イワガキ、アカイカは前年を上回り、ベニズワイガニは前年を下回りました。

### 調査船白山丸のスルメイカ調査結果(期間:8月18日~24日)

■ 調査船白山丸は8月18~24日に日本海中央部から北海道沖でイカ釣り操業を行いました。スルメイカの分布密度の指標であるCPUE(釣機1台1時間当たりの漁獲尾数)は0~28.2尾でした。日本海中央部の平均CPUEは19.6尾であり、前年(5.3尾)および過去5年平均(14.3尾)を上回りました。定点調査ではないため厳密に比較できませんが、今年8月調査時点の日本海中央部のスルメイカの来遊量は前年および過去5年平均を上回っていると考えられます。一方、北海道沖のスルメイカの来遊量は少ないと考えられます。本調査で漁獲したスルメイカの外套長(魚体サイズの指標)の平均値は16.7cmであり、前年(21.9cm)および過去5年平均(21.0cm)より魚体は小型でした。

#### 調査船白山丸イカ釣り調査結果

操業日	操業位置	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲(主な魚体)	表面水温	50m水温
8月18日	42-03.8N, 137-21.5E	65	1.03	17~27cm(25cm)	23.9℃	6.22℃
8月19日	43-38.2N, 139-10.9E	0	0		21.5℃	6.48℃
8月20日	42-17.4N, 138-29.4E	10	0.14	10~25cm(11cm)	24.0℃	6.78℃
8月21日	40-04.3N, 136-30.0E	2,013	15.13	12~28cm(16cm)	27.4℃	14.93℃
8月22日	40-04.9N, 135-26.2E	1,835	15.42	11~28cm(14cm)	27.6℃	15.41℃
8月23日	39-20.6N, 135-09.3E	3,944	28.17	11~25cm(16cm)	29.2℃	8.12℃

CPUE: 釣機1台1時間当たりの漁獲尾数、主な魚体: 漁獲尾数の多かったイカの外套長

#### 大型クラゲ情報 (期間:7月24日~8月24日)

■ 水産研究・教育機構と漁業情報サービスセンターが8月24日までに発表した大型クラゲに関する情報は以下のとおりです。

**日本海** 7月25~26日に対馬付近で3個体(傘径:15~20cm)が目視されました。長崎県(対馬)の 定置網では、8月21~22日に3個体(傘径:30~80cm)の入網がありました。

対馬海峡 水産研究・教育機構が8月22日に行ったフェリーによる博多・釜山間の目視調査では、2個体(傘径:70cm)が確認されました。

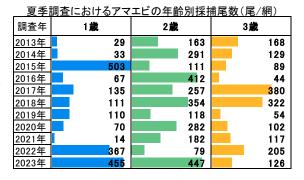
東シナ海 水産研究・教育機構が7月24~29日に行った調査船陽光丸による調査では、目視で1個体(傘径:40cm)が確認されました。

### 石川県周辺海域の水温(期間:8月16日~20日)

- <u>沿岸の海面水温</u> 8月20日の本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は27~29℃台で、過去5年平均との差は±0.0~+3.0℃程度でした。
- <u>沿岸観測ブイの水温</u> 今期の水温は27.9~28.5℃で、8月上旬から約0.1℃上昇しました。前年同時期との差は+0.1~+0.8℃、過去5年平均との差は+1.0~+2.4℃でした。
- <u>**港内の水温**</u> 今期の水温は28.3~32.2℃で、前年同時期との差は+0.5~+3.6℃、過去5年平均との差は+1.4~+3.7℃でした。

## 調査船白山丸のアマエビ調査結果(期間:7月26日~28日)

- 調査船白山丸は7月26~28日に金沢沖の水深375~500mの海域でアマエビ(標準和名:ホッコクアカエビ)の分布量調査を行いました。この調査は、金属枠に袋網をつけた漁具を30分間曳網し、漁獲したアマエビの量や大きさから、今後漁獲対象に成長する小型エビ(若齢エビ)の分布量を調べるもので、夏季と冬季の年2回実施しています。
- 2歳(2021年生まれ)の1曳網当たりの採捕尾数は447尾と多く、同年級群が漁獲対象に成長する2025年以降に漁獲が上向くと予想されます。1歳(2022年生まれ)の1曳網当たりの採捕尾数も455尾と多く、2025年に続き2026年も良好な漁獲加入が期待できます。
- 県内主要港の2023年1~7月のアマエビ水揚量は 479トン(前年同期比105%)でした。





(単位:トン)

果計期間 8月1日~8月 水揚港	190				T# NIII			期間合計	
魚種	橋立	金 沢	富来	輪島	珠洲 地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網								71	- המ
さば	0.2	0.2	0.2	0.3	3.0	7.5	8.0	19.3	21.5
ふくらぎ・こぞくら	0.1	0.1	7.7	4.4	0.6	1.5	4.1	18.6	34.6
まあじ	0.1	0.3	2.0	1.0	1.0	6.5	6.1	17.0	16.8
さわら・さごし	3.3	0.0	3.2	0.7	0.0	0.9	0.8	9.0	15.9
うるめいわし			0.4		0.1	0.3	6.6	7.4	1.
まだい	0.0	0.0	0.3	0.5	0.4	2.1	4.2	7.3	5.7
しいら	0.0	0.0	1.7	0.1	0.1	0.0	0.4	2.4	8.0
くろだい	0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.5	0.7	1.9	1.7
とびうお	0.1	0.0	0.0	0.3	0.5	0.3	0.4	1.7	1.3
かわはぎ(ウマヅラ)	0.2		0.5	0.3	0.1	0.2	0.4	1.6	2.0
その他	0.7	0.4	2.1	2.2	1.1	4.7	38.7	49.9	59.2
合 計	4.8	1.1	18.2	10.0	7.0	24.5	70.5	136.2	167.
まき網									
さば	_	0.0	217.0	95.8		_		312.9	337.
ぶり	_	60.6		0.1		_	8.4	69.1	86.
うるめいわし	_			0.0		_		0.0	0.
その他	_	0.8	49.9	27.2		_		77.9	36.
合 計	_	61.5	267.0	123.1	0.0		8.4	460.0	460.3
底びき網・ごち網									
あまえび		2.7					—	2.7	0.
がすえび(トゲザコエビ他)		0.1					<del>-</del>	0.1	0.0
なめたがれい(ヒレグロ)		0.0						0.0	0.0
あかがれい		0.0					—	0.0	0.0
その他							_	0.0	0.4
合 計	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	_	2.8	1.
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		11.2	19.5	0.0				30.7	43.
さざえ	0.8	000000000000000000000000000000000000000	1.5	0.0	0.7	2.6	1.5	7.1	18.
まだこ	0.0			1.9	0.1	1.0	1.0	4.0	4.
いわがき	0.6		1.8		0.1	0.0	0.0	2.5	1.
あかがれい	***************************************			~~~~~~~		2.0		2.0	2.
あかいか(ケンサキイカ)	0.7	0.0	0.0	0.4		0.1		1.3	0.
あからばちめ(ハツメ)				1.1				1.1	0.
なめらばちめ(キジハタ)	0.1		0.2	0.0	0.1	0.4	0.2	0.9	0.
その他	1.1	0.8	1.0	1.8	1.0	4.0	1.7	11.4	18.
合 計	3.3	12.0	24.1	5.2	2.0	10.2	4.3	61.2	90.
小型いか釣り									
するめいか			1.8	0.8				2.6	132.9
総計	8.1	77.4	311.0	139.1	9.1	34.7	83.2	662.7	852.2

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計